

# 防災緑地ワークショップ新聞

釣師地区・埴浜地区防災緑地

\*防災緑地ワークショップ開催結果のお知らせです。

海辺  
みんなが描く  
故郷  
未来の風景



神社のある高台から沿岸部を見下す。  
盛り土と流された家々の基礎。

## 震災の記憶を留めて

津波による甚大な被害を受けた  
新地町の象徴であった海  
歴史・文化・自然・生活とのかかわり  
この海辺の再生を地域の活性化につなげる  
みなが考え、みなでつくる まちの新たな海辺の風景



2013年6月、現地にて。  
津波にやられた家々の残骸。  
やはり、可憐ながら海が見える。



2013年6月、現地にて。  
ぐにやりと、ねじ崩れたコンクリートの  
向こうに、海...

スケッチ：古山拓（画家・挿絵家）  
左上：神社から計画地を望む、左下：漁港付近の堤防、右下：埴浜地区から漁港を望む

## 防災緑地 ワークショップとは

津波被害を受けた釣師・埴浜地区において、防災緑地の整備を計画しています。

今回整備する防災緑地では、防災機能を確保しながら、自然豊かで、スポーツやレクリエーション、地域活動などに利用される緑地づくりを目指しています。

このため、計画段階からみなさまと意見を出し合える『ワークショップ』を開催し、設計内容や管理方法等に反映していきます。

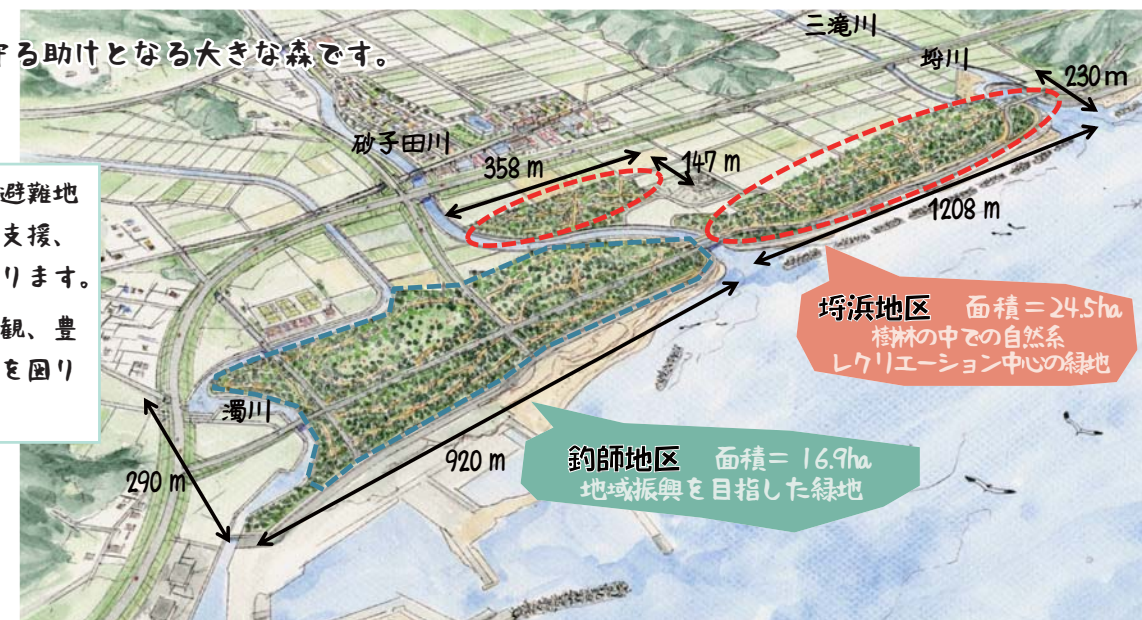
第1回目のワークショップでは、公募した23名の方々と一緒に、防災緑地について学び、その後、3グループに分かれて意見交換を行いました。

## 防災緑地とは

津波から人、まちを守る助けとなる大きな森です。

### 目的と役割

- ✓津波の防御や避難路、避難地となり、復旧・復興の支援、防災教育の場所ともなります。
- ✓地域の再生や美しい景観、豊かな自然の再生・創出を図ります。



絵はイメージです。

## スケジュール

- 6月6日(木) 第1回ワークショップ  
**防災緑地を知ろう!**
- 7月4日(木) 第2回ワークショップ  
**こんな海辺にしたい!**
- 8月上旬 第3回ワークショップ  
**防災緑地を描く!**
- 9月上旬 第4回ワークショップ  
**プランのまとめ、アクションを考える!**
- 10月上旬 第5回ワークショップ  
**成果の確認!**

## 町のみんなの声募集!

「こんな海辺の緑地にしたい!」  
ワークショップに参加できなかったけど、言いたいことが  
沢山ある方、この新聞を見てのご感想などなんでもいい  
でみなさんの声を聞かせてください。  
ご連絡は下記問い合わせ先までお願いします。

## 興味のある方大歓迎!

### 来て・見て・寄ってって!

まだあと3回あります。興味のある方は傍  
聴することができます。是非お立ち寄り下  
さい。あわせて、ご意見ご感想などお寄せ  
下さい。

問い合わせ先：新地町役場復興推進課

☎ 0244-62-2134 FAX 0244-62-3194 Eメール revive@shinchi-town.jp

〒979-2792 福島県相馬郡新地町谷地小屋字樋掛田 30 番地

2013年7月5日発行

# みんなの声

## 海のこと

### 堤防どうつくる?



- ✓ 堤防が高くなって海が見えない
- ✓ 堤防からイベントを見られるような構造にする

### 新地の海を取り戻す

- ✓ 素晴らしい浜、海水浴場、遠浅の海のイメージを残したい
- ✓ 海をきれいに、中にいろんなゴミが沈んでいる
- ✓ せめて海岸で遊べる公園にして欲しい

### 海辺でやりたい

- ✓ 遊海しんち、みんな楽しみにしている、それを楽しみに帰ってくる人も多い
- ✓ やるしかねえべ祭り、最終的には、浜で花火を上げて、新地町の夏の一番の楽しみにしたい
- ✓ 秋の芋煮会
- ✓ 夜、浴衣を着て海岸を歩きたい
- ✓ ビーチバレーができるようにしたい

### 震災前の海との付き合い

- ✓ 正月に海に元朝参り
- ✓ ムシヤクシヤしたときに行くのが安らぐ
- ✓ 海辺のレストランで仕事終わりにお茶を飲むのが好きだった、穏やかになれた

### 楽しいこんなのほしい

- ✓ 橋
- ✓ 海底トンネル (下も通れるように)
- ✓ ダイビングの練習する深いプール
- ✓ 釣りができる場所
- ✓ 人工的な磯場
- ✓ 子どもを好きなように遊ばせて、生き物を見つける楽しみができるような施設
- ✓ ヨットハーバーをつくる、格好いい
- ✓ 海が嫌いになった人も来られる場所をつくる (人工的な噴水、川など)
- ✓ 盛土を活かした写真ポイント
- ✓ 海辺の大会やイベントを観覧できる斜面を使ったスタンド

### 夜のスポット

- ✓ ベイエリア的にLEDの街灯で明るくする、ピンク、黄色、ブルー、七色などLEDで町の色をつくる
- ✓ 夜も散歩に行けるようにしたい

### ビーチクリーンより

- ✓ 最終目標は海水浴場の復活
- ✓ 海に潜りたい、海が見たい
- ✓ 一人一人手作業で片付けている

### スポーツしたい

- ✓ 世界大会が開催できるのディスクゴルフコース
- ✓ 子どもから年配の方みんなが楽しめる
- ✓ ランニング、マラソン、ウォーキング
- ✓ サイクリングもいい
- ✓ プラス、イベントもあるといい
- ✓ 緊急時はコースを広い避難路として開放する
- ✓ マラソンしながら高台まで行ける
- ✓ 海を眺めながらマラソン
- ✓ 何か日本一のもの
- ✓ 安心して散歩できるコース、合間にちょっと休憩できるベンチ
- ✓ 車を駐車場に止めて、ベンチに座って弁当食べて、海をただ眺める場所

### 楽しいこんなのほしい

- ✓ 海を恐れている子どもたちも遊べるような緑地
- ✓ 森の中へ入って、自然を体験
- ✓ 子どもたちが川で水遊びができるような噴水
- ✓ アスレチック、遊具が日本一
- ✓ ピクニックができる
- ✓ 平場は海まで遊べるような地形にして、バトミントンやボール遊びから海辺遊びまで
- ✓ 動物とのふれあい、アルパカ牧場

### 遊び方

- ✓ 木の上を歩ける「ツリー・トップ・ウォーク」
- ✓ プレイリーダーがいて、公園を使って遊び方を教えてあげる
- ✓ 道路に落書き、ガレキや木材で工作

7-7ショウの風景-1

スタートと同時に様々な意見が交わされる。立ち位置がかわれば、アイデアも異なる。



## 海辺の緑地で したいこと

第1回は「海辺の緑地でしたいこと」をテーマに意見交換しました。参加者みんなの声をお届けします。

## 森や広場のこと



### いつもの場所

### カップルの場所

### 木を植える、未来になる

- ✓ 小学校とか中学校の子が植えて、将来自分の子ができたときに「これはね、お父さんが小学生のときに植えた松なんだよ」となったらすてき
- ✓ 「木に自分の名前を付けられます」というと東京からも来ると言う、ツアーになる

# 子どもたちのこと



### 海がこわい、払拭したい

- ✓ 子どもが海を怖がる
- ✓ 被災した子どもたちがたくさんいる
- ✓ その怖さを払拭できるようにしたい
- ✓ 正しい海の怖がり方をきちんと教えてあげれば、海にちゃんと戻ってこれるのではないか

### 新地小学校の取り組み

- ✓ ハンカチプロジェクトに取り組んでいる
- ✓ 自分たちでデザインしたハンカチを全国でチャリティ販売
- ✓ その収益を新地町の復興に利用してもらいたい
- ✓ 具体的にどう関われるか自分たちで考えをまとめようとしている

### きちんと伝える

- ✓ 海を眺めながら思い起こせる場所も残しておく必要がある (資料館的な施設、碑など)
- ✓ 子どもたちには伝えていかなければいけない

### 仮設の子ども

- ✓ 駐車場でスケボーしている
- ✓ 場所だけつくと自分でスケボーを持ってきて使う
- ✓ 仮設は1つの家族と同じ、ばあちゃんたちが子どもたちをきちんと叱る

### 安全な遊び場を通して

- ✓ 一番は、子どもたちの遊び場が欲しい
- ✓ 完全に忘れるのは無理、でも、遊んでいるときは震災を忘れられるような空間にして欲しい
- ✓ 海は楽しいところだというイメージに変えていく
- ✓ ゲームより海の方が楽しいと思ってくれればいい

### 公園づくりをきっかけにして

- ✓ 子どもたちのアイデアを積極的に活かしてもらって、まちづくりに参加させたい
- ✓ 植樹を通じて育てるところから子どもたちが関わり「自分がつくった」と思えばふるさとを愛する気持ちを育てるいい機会

## にぎわいのこと



### お金を落としてもらう

- ✓ 人を集めて特産品を売ってお金を落としてほしい

### 新地に住みたいね

ファミリーでイベントにきて、「ここはいいところ」帰るとき「新地町に住みましょう」のストーリー

### 高速から海まで

- ✓ 高速道路から海までのアクセス路を整備して商店街ができてお土産が並ぶようにしたい
- ✓ 駐車場の軽トラ市

### 新地タワー

- ✓ メモリアル的な意味も含めて、新地町に一つ観光名所として新地タワー、世界中から集まるポイント

7-7ショウの風景-2

このボードには、参加者のアイデアが次々と、みんなにメモられて見られる。あ、という瞬間、ボードはぎらぎら。



7-7ショウまとめの時間はこんな7分15秒。

37のグループで出された意見、提案にそれぞれのグループが興味津々、身を乗り出して聞いていた。

